

2024.
3.18 月
13:30~16:30場 所 **じゅうろくプラザ**
中会議室1 (JR岐阜駅前)

プログラム

13:30~13:40 開会挨拶

13:40~14:20 (講演30分 質疑応答10分)

「宮崎県におけるSFTS対策の取組
(小さな繋がりから大きな輪へ)」

オカバヤシ タ マキ

講師 **岡林 環樹**

宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター 教授

14:20~15:00 (講演30分 質疑応答10分)

「薬剤耐性対策に関する医療分野の取組
(ヒト動物環境分野の情報と普及啓発)」

マツナガ ノブアキ

講師 **松永 展明**

国立国際医療研究センター病院

AMR臨床リファレンスセンター 臨床疫学室 室長

15:00~15:10 休憩

15:10~15:50 (講演30分 質疑応答10分)

「ワンヘルスの視点から狂犬病
を考える」

イトウ ナオト

講師 **伊藤 直人**

岐阜大学 大学院共同獣医学研究科

人獣共通感染症学 教授

15:50~16:20 総合討論

16:20~16:25 閉会挨拶

市民公開講座
岐阜大学大学院共同獣医学研究科
ワンヘルスを
考える

2022年10月に、4つの国際機関が「One Health Joint Plan of Action 2022-2026」を策定し、ヒト、動物、環境の観点から分野を超えた感染症対策を呼びかけています。新興感染症の大部分は人獣共通感染症であり、そのうち約70%は野生動物に由来しています。これらの感染症は動物や人間の移動によって拡散し、時には国家間で伝播します。近年では、COVID-19のように致命的なパンデミックは記憶に新しいと思います。感染症の多くは節足動物によって媒介され、SFTSのように野生動物を中心としたダニ媒介感染環が対策を難しくしています。また、薬剤耐性も世界的なサイレントパンデミックな健康上の課題として取り組まれています。「人獣共通感染症」として狂犬病は発展途上国を中心に依然として深刻な問題です。このように、ヒト、動物、環境の間での感染症や薬剤耐性の拡散を防ぐため、社会的・環境的要因も考慮する必要があります。本市民講座では、岐阜を含む東海地方でどんな One Health アプローチを構築できるかについて多面的に考える機会になることを期待して企画しました。

募集人員
限定60人
(要事前申込)

参加費無料

申込方法

受講を希望される方は、**令和6年3月8日(金)**までに、メールの件名を「公開講座受講希望」とし、以下のメールアドレスへ氏名・電話番号をお送りください。
E-mail: jgsvs@t.gifu-u.ac.jp



(アクセス) JR岐阜駅から徒歩5分 名鉄岐阜駅から徒歩7分

【主催】岐阜大学大学院共同獣医学研究科
【共催】一般社団法人 岐阜県医師会、公益社団法人 岐阜県獣医師会、
岐阜大学応用生物科学部、岐阜大学大学院連合獣医学研究科、
東海国立大学機構One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点(COMIT)
【後援】岐阜県

申込・問い合わせ先

岐阜大学大学院共同獣医学研究科
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
TEL: 058-293-2987 FAX: 058-293-2992
E-mail: jgsvs@t.gifu-u.ac.jp
ホームページ: <https://vetsci.gt-jdvm.jp>